

地 域 で 守 ろ う 豊 かな 自 然

# ささ川

新春号

January 2022

水土里ネット笹川



第17回水土里ネット笹川写真コンテスト 一般の部 最優秀賞「今年のお米も金メダル」 小林 弥生さん

## Contents ● 目次

2. ごあいさつ
4. 財務状況の公表
5. 鎌田記念碑除幕式
6. 事業実施状況
8. 写真コンテスト入選作品紹介



# 恭賀新年

## 新年のご挨拶



笹川土地改良区  
理事長 丸山 成人

明けましておめでとうございます。組合員の皆様、関係者各位におかれましては、健やかに新年をお迎えした事とお慶び申し上げます。

令和3年も、昨年同様新型コロナウイルス感染拡大防止のため、不要不急の外出などを制限され、大変な一年となりました。昨年の10月以降、減少傾向となり山形県の警戒レベルも徐々に引き下げられ、10月末日には、レベル2(注意)となり、11月には会食における人数、時間の自粛要請も終了し、一安心したところがあります。新型コロナウイルスとはこしばらく上手につき合いながら、昨年度まで行えなかった当改良区内の総代研修や、各委員会などの諸会議、研修会等を開催しながら、組合員の声を幅広く求めていきたいと考えております。

近年は、地球温暖化により小雪で雪解けも早まっております。昨年の春は木々の芽吹きが早まり、霜による果樹の被害が多く見られました。稲作においては春先より天候に恵まれ大雨等の被害もなく、梅雨明けも平年より10日ほど早く、庄内の作況指数で105のやや良となりました。ただ新型コロナウイルス等の影響により、消費量が伸び悩み米の在庫量が増えたことにより価格が大幅に下がる状況となっております。令和4年度も前年同様さらなる主食用米以外への転換が図られます。水田を有効に活用しながら、農業関係団体と共に協力し地域農業の発展に努めて参りたいと思います。

令和4年度の事業につきましては、農地整備事業の金森目2期地区は面工事4年目となり、今年度で面工事が終了となる予定です。一本松地区においては

実施設計を予定しております。笹川左岸上流地区農地整備事業におきましては令和4年度に事業採択予定であり、上野新田、中川代地区も事業採択に向けて調査を進めていくところです。

農村地域防災減災事業の黒岩堰地区は、来年度の完成に向け上流部の用地買収と水路工事を行う予定です。また、同事業の大沢地区では、ため池の改修が行われており、来年度から2ケ年ため池が使用できない状態となりますので、水の調整等皆様のご協力をお願いいたします。地域用水環境整備事業(小水力再生可能エネルギー)につきましては、現在送水管工事が行われており、発電機についても発注済みとなっております。また、農地耕作条件改善事業を活用して、鴻ノ巣地区に地下水ポンプを設置しております。今春より稼働となりますので有効に活用して頂きたいと思っております。

多面的機能支払交付金においては、今後も各総代を中心に集落と協力しながら、継続して農地と地域の維持に活用して頂きたいと思っております。

最後に、昨年春には融雪による用水路の破損が見られました。幸いにも発見が早かったため、春作業には影響を及ぼすまでにはいきませんでした。被害等がありましたら、早急に改良区に連絡して頂ければと思います。本年も農業情勢は厳しい状況ではありますが、事業運営に支障が出ないよう、新型コロナウイルス感染防止に努めながら、用水の安定供給と組合員の負担軽減に役職員一丸となって努力して参りますので、ご協力賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

## 新年のご挨拶

新年、明けましておめでとうございます。旧年中は、皆様には大変お世話になり感謝申し上げます。本年も何卒宜しくお願ひ致します。

私も皆様にご支援をいただき国政に送り出していただいてから、早5年半が過ぎました。土地改良予算の動向等を報告し、私なりの政治スタイルを再確認しながら次のステップを展望してみたいと思います。

昨年末には、令和3年度補正予算が臨時国会において可決、成立しました。土地改良予算は、総額1,832億円(TPP等対策：774億円、米対策：46億円、国土強靱化5か年加速化対策：1,012億円)です。令和4年度当初予算政府原案での土地改良予算は4,468億円(令和4年度からデジタル庁計上となる政府情報システム予算を含む。)であり、令和4年度の予算額は補正と当初を合わせて6,300億円となり、本年度と同水準の予算が確保できる見通しとなりました。

主な事業制度の新規・拡充事項としては、○農家負担がゼロの「農地中間管理機構関連農地整備事業」の工種に農業水利施設や農道、暗渠排水等を追加(現在は区画整理と農地造成のみ)、○「農地耕作条件改善事業」の助成対象に除草機器を追加、○省エネ化・再エネ利用に取り組む「かんがい排水事業」の事業費要件や末端要件を緩和、○「農地耕作条件改善事業」等の助成対象に田んぼダム導入に係る調整活動や畦畔補強等を追加、○「土地改良施設維持管理適正化事業」に「防災減災機能等強化対策」(防災・減災機能の強化、施設管理の省エネ・再エネ利用や省力化を図るための施設整備)を新設(国費率を従来の30%から50%に嵩上げ)、○「土地改良区体制強化事業」の助成対象に小規模土地改良区の業務再編を追加することなどが挙げられます。

さて、私は令和3年3月15日に参議院予算委員会で質問を行う機会に恵まれ、その様子がNHK総合テレビで放映されました。「食料安全保障」に関して、基本的に国民の食生活を変えずに食料自給率の向上を図る具体的な政策提案を行いつつ、質疑を行いました。私が、率直に感じたのは当時の菅総理大臣と野上農林水産大臣の食料安全保障に関する答弁が従来と比較して変化したことでした。食料安全保障とは、いかなる状況下においても国民に対して食料を安定的に供給することを担保することで、これは国の最も基礎的な責務です。食料・農業・農村基本法第2条においては、「国内の農業生産の増大を図ることを基本とし、これと輸入及び備蓄とを適切に組み合わせて行われなければならない」と規定しており、従来はこの基本法第2条をいわば紋切り型で答弁にあてられていた感がありました。しかし、今回の答弁では、輸入と備蓄には



全国水土里ネット会長会議顧問  
参議院議員 進藤 金日子

一切触れずに、むしろ輸入品から国産に切り替えることを強調して、国内生産の増大を図っていくことが強調されました。これは画期的なことで、国内の農業生産の基礎的体力である「食料自給力」を総力で強化していくということを国会で宣言したことになるわけです。

「食料自給力」の最も基礎的なものが「農地・水等の農業資源」です。自給力の強化を図るには、農地と水の持っている機能を高めていくこと、即ち土地改良が不可欠です。農業生産に必要な労働力や熟練の技術をICTやAIで代替するスマート農業を展開していくためにも、その基礎となる土地改良を中長期的な展望を持って推進していくことが必要です。土地改良の推進に当たっては、予算の安定的な確保とともに、貴重な予算を効率的、効果的に執行して、目に見える成果を出していかなければなりません。その中核となるのが技術力であり、産・官・学の総力を挙げて技術力の向上に取り組む必要があります。

私は、これまで全国津々浦々を訪問し、現場の実情を視て、現場の声を聴いて、それらを国政の場に届け、課題解決の実現に努めて参りました。私自身、現場目線、国民目線での政治こそが、いま強く求められていると痛感しています。こうした活動が事業制度の新規・拡充要求に繋がっているものと確信しています。山形県内にも度々訪問し、色々なご指摘や多くの要請をいただきました。こうした現場の声を真摯にお聴きし、改善できるものはすぐに改善し、事業制度の新規・拡充に繋げる必要があるものは次年度の予算要求に反映できるように更に努力して参ります。

全国各地の農業・農村は多様であり、それ故に各種要請の内容も多様です。引き続き同志の宮崎雅夫議員と力を合わせ、必要な予算の確保とともに、現場の課題解決に直結する制度構築等に全力で取り組んで参ります。今後とも、これまでの政治スタイルとスタンスを変えることなく、泥臭く鈍重でも、急峻な斜面を一步一步踏み締めて前進する牛のように精進し、現場が抱えている課題を一つでも多く解決できるように結果を出して参る所存です。

皆様からお預かりした参議院議員の任期も残すところ7か月余りとなりましたが、まずは貴重な任期を一日たりとも無駄にすることなく政治活動に全力投球して参ります。そして、次のステップに進むためには改選という高く厚い壁を超えなければなりません。私自身、この壁の突破に専心努力して参る覚悟ですので、皆様の引き続きのご指導とご支援を心からお願ひ申し上げます。皆様の益々のご健勝とご活躍を心からお祈りいたしております。

# 笹川土地改良区財務状況の公表について

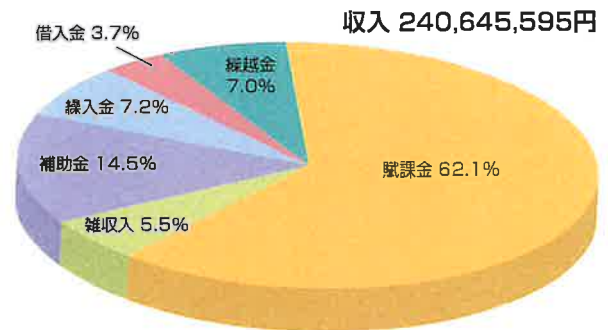
令和2年度の各会計別収入支出決算並びに財産目録等について、去る令和3年9月6日開催の第1回臨時総代会において承認されましたので、お知らせします。

## 1. 令和2年度 会計別決算額

### 一般会計

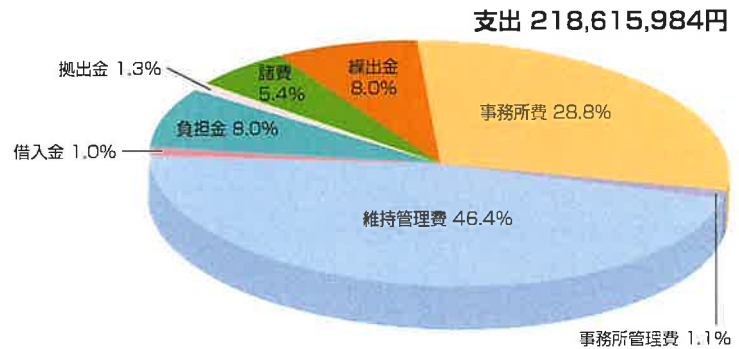
◎収入 (単位：円)

款別	決算額	割合
賦課金	149,528,465	62.1%
雑収入	13,241,945	5.5%
補助金	34,827,750	14.5%
繰入金	17,329,937	7.2%
借入金	9,000,000	3.7%
繰越金	16,717,498	7.0%
収入合計	240,645,595	100.0%



◎支出 (単位：円)

款別	決算額	割合
事務所費	62,968,602	28.8%
選挙費	48,040	0.0%
事務所管理費	2,305,805	1.1%
維持管理費	101,464,980	46.4%
借入金	2,069,940	1.0%
負担金	17,531,053	8.0%
拠出金	2,891,700	1.3%
補助金	0	0.0%
諸費	11,885,864	5.4%
繰出金	17,450,000	8.0%
予備費	0	0.0%
支出合計	218,615,984	100.0%



### 特別会計

(単位：円)

会計区分	予算額	収入	支出	繰越金
農業基盤整備事業費	18,250,000	18,379,073	11,299,079	7,079,994
鎌田地区県営農地整備事業費	23,942,000	23,942,871	21,042,632	2,900,239
金森目地区県営農地整備事業費	48,112,000	48,118,901	46,253,762	1,865,139
農地流動化支援水利用調整事業費	391,000	396,985	365,200	31,785
維持管理委員会	4,401,000	4,431,048	978,697	3,452,351
特別会計積立金	108,214,000	108,328,630	0	108,328,630
地区除外決済金	380,000	819,449	0	819,449
特別会計合計	203,690,000	204,416,957	79,939,370	124,477,587

## 2. 財産目録

(単位：円)

資産の部	
1. 流動資産	148,551,606
1) 現金及び預金	37,359,119
2) 未収入金	519,908
3) 特定資産	109,148,079
4) 基本財産	1,524,500
2. 固定資産	38,386,535
1) 土地	35,281,131
2) 建物設備	2
3) 備品	3,105,402
資産合計	186,938,141

(単位：円)

負債の部	
1. 長期負債	136,393,810
1) 日本政策金融公庫借入金	90,470,635
2) 庄内たがわ農業協同組合借入金	45,923,175
2. 短期負債	116,280,001
負債合計	252,673,811

# 祝 鎌田地区経営体育成基盤整備事業 記念碑除幕式並びに竣工式

11月9日、鶴岡市羽黒町荒川地内において竣工記念碑の除幕式並びに竣工式を関係者約40名を招いて開催されました。

雨の中の式典でしたが、記念碑の除幕には衆議院議員国土交通大臣政務官加藤鮎子代議士が出席され、ご自身が揮毫した記念碑の除幕を地元役員と行いました。

竣工式典では、庄内総合支庁産業経済部農村整備課阿部課長より事業経過報告が行われ、衆議院議員加藤鮎子氏、庄内総合支庁産業経済部次長足達雅一氏、鶴岡市長皆川治氏、本区丸山理事長より祝辞が述べられ、竣工の喜びを関係者とともに分かち合いました。



平成25年度より8年の歳月をかけ約40haの農地整備事業が令和2年度に完成しました。管内では初の大区画圃場(1ha)が地区内の約50%(20.5ha)を占め、大区画による余剰労力を高収益作物等の栽培に取り組み、農業収入の安定化や地域農業の発展に寄与したことが認められ、令和2年度農業農村整備事業優良地区コンクールにおいて全国水士里ネット会長賞を授与しました。

## 第40回山形県土地改良大会

山形県土地改良大会が10月28日に山形市の山形国際交流プラザで新型コロナウイルス感染予防の万全な対策を講じて開催されました。本区の丸山理事長が、「私たち土地改良事業に携わる者には、農業農村整備を核として農村の振興を図り、農業を次世代の担い手にとって魅力ある産業として引き継いでいくという大きな使命がある。」という言葉に続けて大会宣言を行いました。



## 要請活動

12月1日に加藤鮎子国土交通大臣政務官と宮崎雅夫農林水産大臣政務官にお会いして、本区の農地整備事業の実施状況と重要性について説明し、十分な予算確保の要請を行ってきました。



# 令和3年度 事業実施状況

## 金森目地区経営体育成基盤整備事業

- ◎工事名 令和2年度 金森目2期地区  
経営体育成基盤整備事業 第2工区工事(繰越)
- 工期 令和3年3月31日～令和3年12月24日
- 受注者 株式会社 佐藤工務
- 工事内容 区画整備工事 A=20.7ha
- ◎工事名 令和3年度 金森目2期地区  
経営体育成基盤整備事業 第3工区工事(繰越)
- 工期 令和3年9月21日～令和4年1月20日
- 受注者 株式会社 鈴木工務店
- 工事内容 ・調整池工 一式
- ◎工事名 令和3年度 金森目2期地区  
経営体育成基盤整備事業 第4工区工事(繰越)
- 工期 令和3年12月2日～令和4年3月18日
- 受注者 株式会社 和泉工務店
- 工事内容 地下かんがい工 A=13.4ha



用排水路工 施工状況



調整池工 施工状況

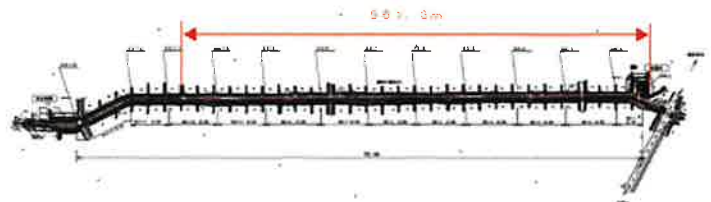
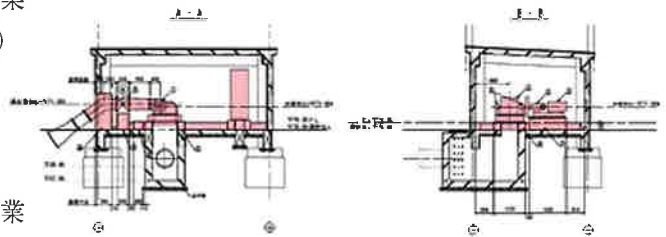
## 一本松地区経営体育成基盤整備事業

- ◎業務名 令和3年度 一本松地区経営体育成基盤整備事業  
大割測量基本設計業務委託
- 工期 令和3年10月14日～令和4年3月22日
- 受注者 山形県土地改良事業団体連合会
- 委託内容 ・基準点測量 ・大割測量  
・境界杭測量 ・計画図面等基本設計 一式



## 笹川地区地域用水環境整備事業(小水力発電)

- ◎工事名 令和3年度 笹川地区 地域用水環境整備事業  
(小水力発電)第1工区工事(債務負担行為)
- 工期 令和3年7月28日～令和5年7月31日
- 受注者 三和メイテック 株式会社
- 工事内容 ・発電設備、電気設備 一式
- ◎工事名 令和3年度 笹川地区 地域用水環境整備事業  
(小水力発電)第2工区工事
- 工期 令和3年9月10日～令和4年3月25日
- 受注者 株式会社 山田工務店
- 工事内容 ・導水管 561.3m





最優秀賞『今年のお米も金メダル』小林 弥生 さん



理事長賞『二人はなかよし』太田 町子 さん



優秀賞『田植え日和』  
杉山 正廣 さん



優秀賞『わたしの!ぼくの!』阿部 朋子 さん



会長賞『春、喜び』庄司 渡 さん



入選『一家総出』  
片桐 佳市 さん



入選『技術を次世代へ』  
池田 奈菜子 さん



入選『近代農業』  
遠藤 勇 さん



第17回  
写真  
コンテスト  
受賞作品



入選『秋空の下のコンバイン』  
丸山 紗和 さん

最優秀賞  
『菊むすめ』  
齋藤 柚子 さん



入選『芋兄ちゃん』  
高橋 勝海 さん

